

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市幸町南児童館
2	指定管理者	特定非営利活動法人MIYAGI子どもネットワーク
3	指定期間	平成27年4月1日から平成32年3月31日まで
4	施設の利用状況	《利用者数》 22,805人 (前年度比 95.9%) 平成28年度 23,777人 平成27年度 24,968人 平成26年度 25,022人
		《事業》 児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業
5	収支の状況	《費用》 ・ 指定管理者に支払った費用 26,356千円 (22,287千円) ()は前年度決算額 ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円)
		《収入》 ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)
6	利用者の声	《実施状況》 利用者アンケート、地域懇談会、児童クラブ保護者懇談会を実施。

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野		所見	評価
I	総則	児童館の設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示、ホームページ等で利用者にも周知している。また、地域の特性を生かした各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	S
II	施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な運営管理体制が構築されている。また、施設内外の日常点検及び定期点検、マニュアル等の整備、毎月の避難訓練の実施等、安全に留意した運営に取り組んでいる。	S
III	施設・設備の維持管理	日常的・定期的な保守点検や清掃により、建物、設備、外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取組みが実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	S
IV	サービスの質の向上	名札の着用、館内掲示による職員紹介、児童館だよりの発行やホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに取り組んでいる。また、各種研修への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施、年に1回実施の自由参加利用者懇談会等を通して利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	S
V	施設固有の基準	児童クラブの運営においては、月1回発行の児童クラブ通信や、年3回実施の保護者懇談会等を通して、保護者と連携した育成支援に取り組んでいる。 囲碁・将棋、読み聞かせボランティアや子育て支援クラブ等地域組織の活動を支援し、世代間交流を図っているほか、顔の見えるつながりから地域の子育て環境の向上を図っている。	S

三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み		取組み状況
1		
2		
3		
加点評価		—

四 評価総括

《指定管理者（特定非営利活動法人MIYAGI子どもネットワーク）による自己評価》
<p>幸町南児童館は、団体の児童館目標「子どもの力が伸びる遊びとおもいやりの生まれる児童館」と、館独自として設定した『遊びの中で育つ、生きる力を育てる』の2つを目標に掲げ、児童の健全育成、子育て家庭支援、放課後児童健全育成、地域連携などの事業を企画した。</p> <p>まず、「遊びの中で育つ」を合言葉に、児童館まつり【忍者村】を実施した。達成感や自己肯定感を多く感じられる遊びのコーナーを設定し、「頑張れば出来る」「最後までやり遂げる」「工夫すると楽しい」ことを体験できるまつりとした。まつり実施後は、子どもたち自身が普段の遊びの中で工夫することが増えた。</p> <p>また、中高生の利用も定着し、子どもたちの居場所となっている。幼児親子から地域の年配の方まで幅広い年齢層の利用者が児童館に集い職員と歓談したり、子どもたちと遊んだりとつながりが深くなっている。互いに日頃の様子を伝えあうことで地域に根差した児童館になっていることを実感する。</p> <p>「生きる力を育てる」ことは、互いにコミュニケーションが取れることであると考え、自分の気持ちを声に出して伝えることを大切にして過ごした。小学生は特に単語で伝えることに慣れていることが多いので、「～が欲しい」「～がしたい」など相手に伝わる話し方を意識して伝えるように働きかけた。誰も気持ちを分かってくれないではなく、伝える大切さを感じてもらう機会を日常的に増やした。</p> <p>今後も地域の児童館として、子どもが地域で育つような事業の企画や地域連携に取り組み、社会参画できる子どもたちを育てるよう心掛けていきたい。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>乳幼児親子を対象に、月1回登録制や自由参加の年齢別行事、保護者交流サロン、育児相談の場を提供している。利用者の視点から様々な情報提供の場を設けるほか、保護者向け企画の実施などを通して、育て家庭支援の充実に取り組みしており評価できる。</p> <p>小学生を対象に、毎月伝承・工作活動の場を提供しているほか、自転車交通安全教室や防災行事等を通し安全学習に取り組んでいる。加えて児童館まつりでは、登録制高学年ボランティアの活躍の場を支援するなど主体性を育む取組みを実施している。</p> <p>地域の消防学校の見学や、老人福祉施設、商業施設、障害者福祉センターまつり、地区夏祭り等で子どものすずめ踊りの発表を行い、地域に関わり交流する場を設けている。また、月に1回土曜日に「お弁当タイム」を設け、児童クラブの児童以外にも、希望者が弁当を持参し児童館で食べることができる交流の場を提供している。</p>	S

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進室